

平成22年9月期 決算説明会

平成22年11月

株式会社シーエスアイ
Mothers 4320

目次

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1.会社概要と市場概況 | (3～ 8頁) |
| 2.平成22年9月期 業績 | (9～14頁) |
| 3.平成23年9月期 通期見通し | (15～17頁) |
| 4.業界動向と今期方針 | (18～35頁) |

会社概要と市場概況

会社概要(平成22年9月30日現在)

商 号:株式会社シーエスアイ (東証マザーズ上場:4320)

設 立:平成8年3月25日 資本金:11億3,659万円

所在地:本社 札幌市中央区
東京支店 東京都中央区
大阪支店 大阪市中心部
九州支店 福岡市博多区

主な役員:取締役会長 杉本恵昭 代表取締役社長 赤塚 彰

主な株主:日本電気(株)、日本事務器(株)、日本生命(相)、オリックス(株)
(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、従業員持株会

従業員数:129名

主な事業:医療システム事業
一院内システム(電子カルテシステム、オーダーリングシステム)
一病診連携システム
システム開発事業
一システム開発等の受託 等

ホームページ:<http://www.csiinc.co.jp>

パッケージビジネス

MI・RA・Is/EX

一般病院向け電子カルテシステム

MI・RA・Is/EX Mversion

精神科病院・療養型病院向け電子カルテシステム

MI・RA・Is/MX

精神科単科病院向け電子カルテシステム

MI・RA・Is/CT

小規模医療機関向け電子カルテシステム

Artima

薬品物品管理システム

BTRAS

輸血部門システム

ソリューションビジネス

ID-Link

複数医療機関での情報共有システム

Health Clover

患者・家族と医療機関とのコミュニケーションシステム

システムインテグレーション・開発

SI

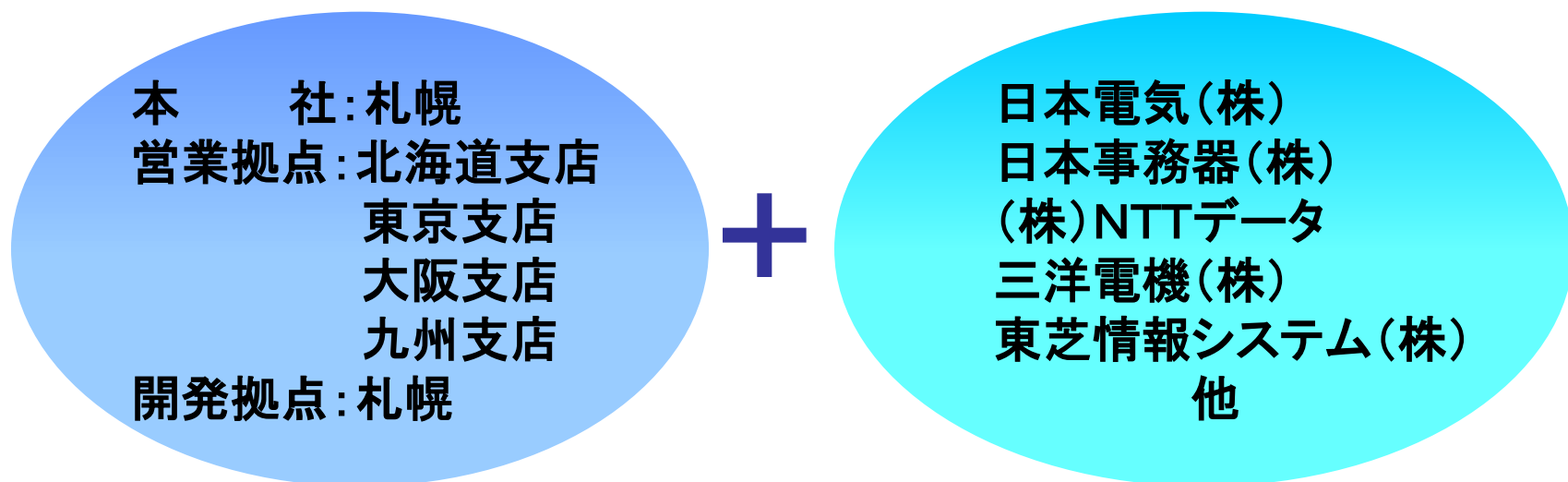
HIS(電子カルテ)、医療関連システムのシステムインテグレーション

受託事業

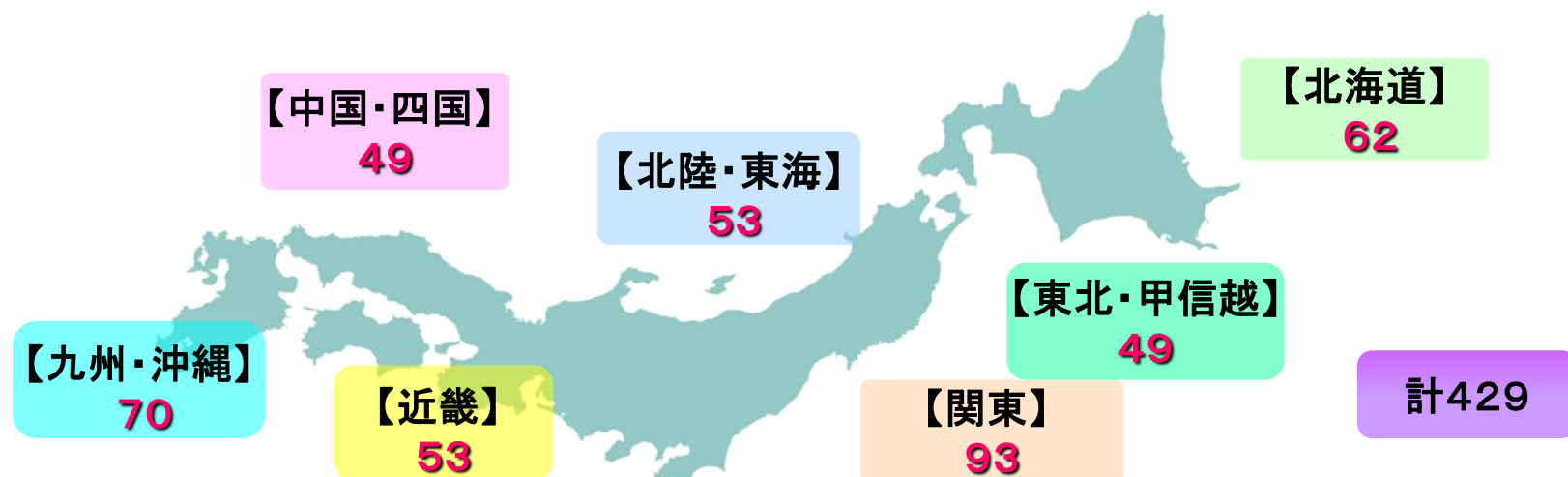
お客様からのシステム開発

事業体制

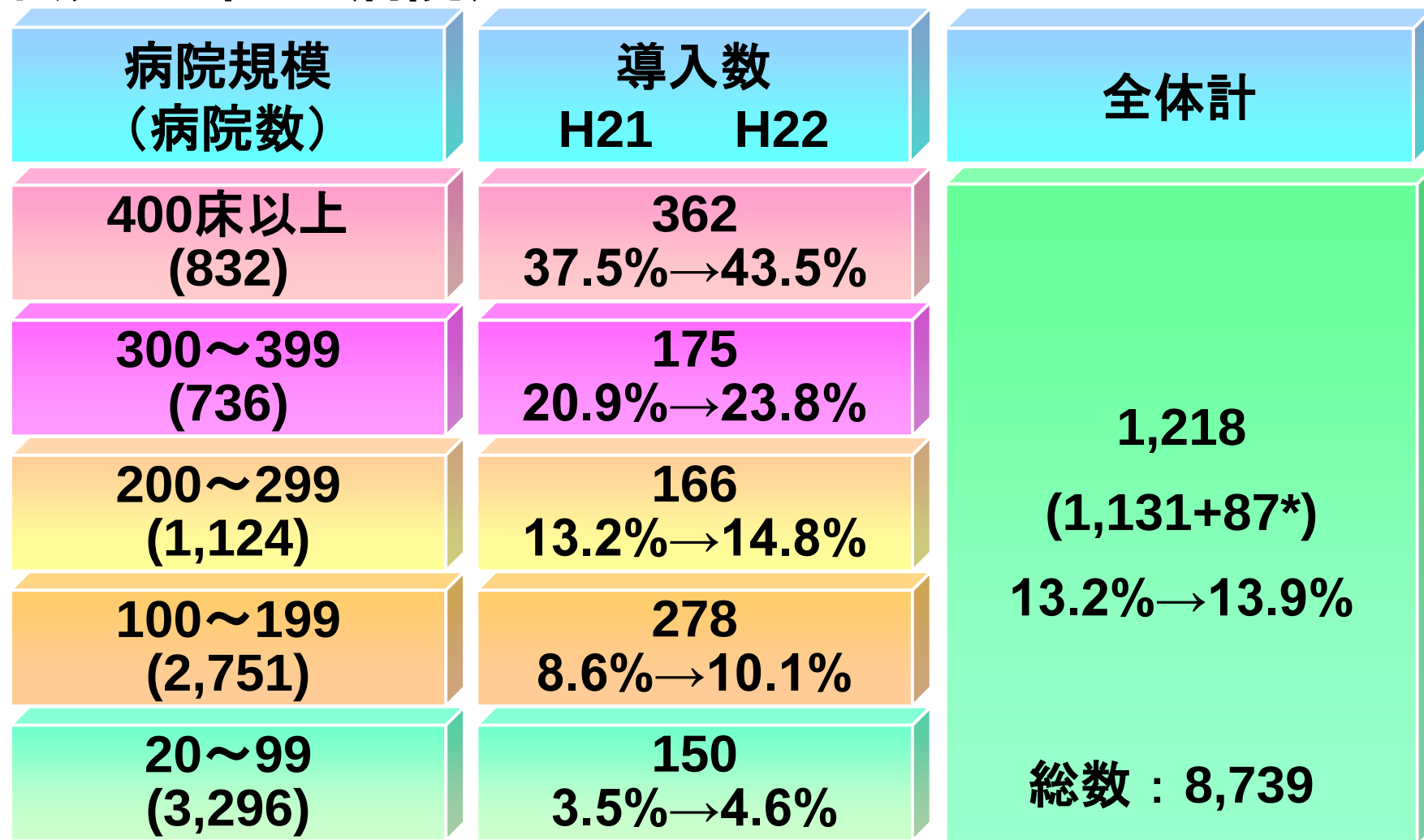
直販と販売店による営業活動で全国をカバー



CSI受注実績(平成22年9月30日現在)



電子カルテ病床規模別導入実績 (平成22年:全病院)

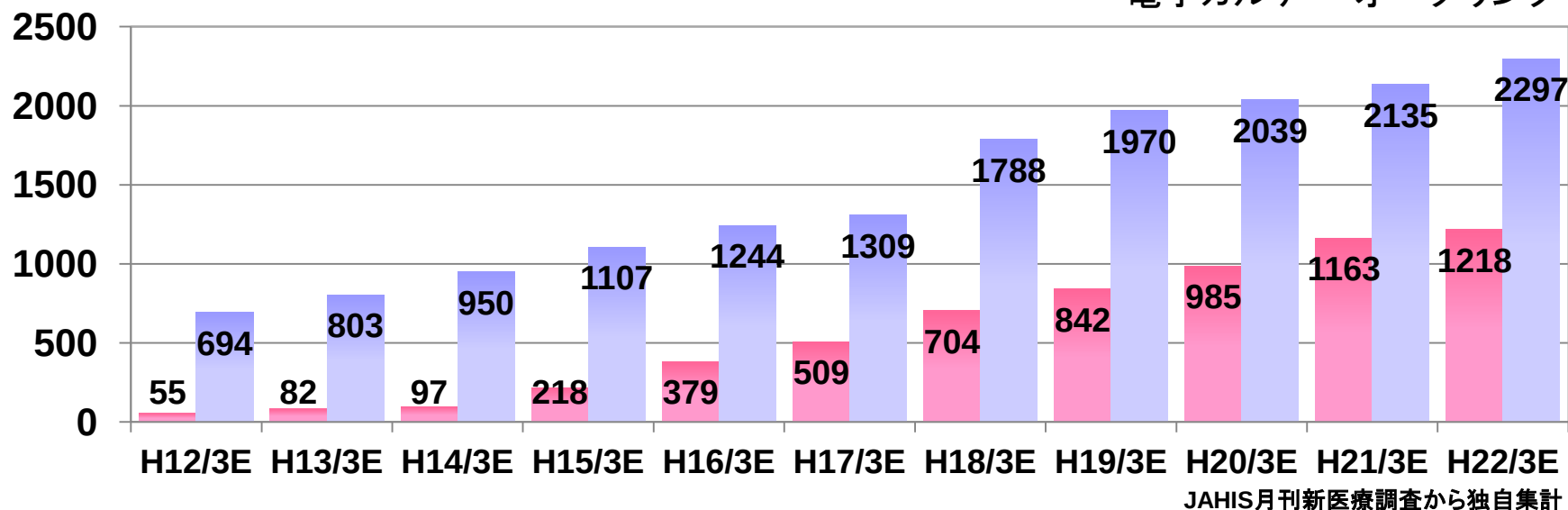


()内はH21の病院数 矢印前後の数字はH21・H22の導入率(%)

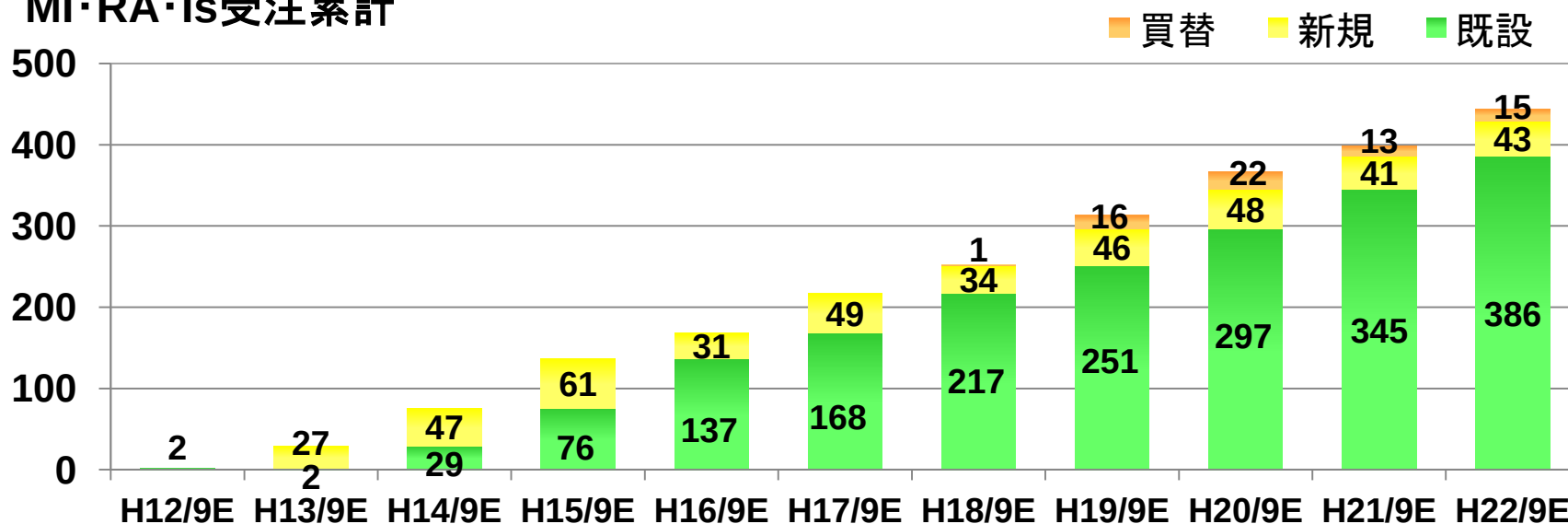
*病院名非公開数

導入傾向・当社受注実績

電子カルテ・オーダーリング導入実績（全病院）



MI・RA・Is受注累計



平成22年9月期 業績

損益計算書抜粋

単位：百万円

	平成21年9月期 実績（個別）	平成22年9月期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	3,731	3,902	170	4.6%
売上総利益	905	965	60	6.6%
売上総利益率	24.3%	24.8%	—	—
営業利益	187	133	△53	△28.8%
経常利益	181	127	△54	△29.8%
当期純利益	90	134	43	48.4%

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※当社は当事業年度より連結財務諸表非作成会社であります。

■電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」を中心とした販売が順調に推移し、売上高は増加したものの、次世代電子カルテシステムの開発がピークを迎えたことにより研究開発費が増加し、営業利益・経常利益は減少した。

■過年度の繰越欠損金により、法人税等の負担が軽減されたことに加え、貸倒引当金戻入益（特別利益）があったことにより、当期純利益は増加した。

損益計算書 計画・実績比較

単位：百万円

	平成22年9月期 計画	平成22年9月期 実績	計画比	
			増減額	増減率
売上高	3,909	3,902	△6	△0.2%
営業利益	130	133	3	2.8%
経常利益	124	127	3	2.8%
当期純利益	120	134	14	12.0%

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※当社は当事業年度より連結財務諸表非作成会社であります。

■当社の主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」を中心に、受注・売上ともに順調に推移し、各利益もほぼ計画通りであった。

事業別実績抜粋

単位：百万円

		平成21年9月期 実績(個別)		平成22年9月期 実績	
		金額	百分比	金額	百分比
電子カルテ システム事業 開発	売上高	3,413	100.0%	3,624	100.0%
	売上原価	2,568	75.3%	2,703	74.6%
	売上総利益	844	24.7%	921	25.4%
受託システム 事業開発	売上高	318	100.0%	277	100.0%
	売上原価	257	80.8%	232	83.8%
	売上総利益	61	19.2%	44	16.2%
合 計	売上高	3,731	100.0%	3,902	100.0%
	売上原価	2,825	75.7%	2,936	75.2%
	売上総利益	905	24.3%	965	24.8%

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 ※当社は当事業年度より連結財務諸表非作成会社であります。

事業別受注状況

単位：百万円

	平成21年9月期 実績		平成22年9月期 実績	
	受注高 (連結)	受注残高 (個別)	受注高	受注残高
電子カルテシステム開発	3,316	1,005	3,903	1,284
受託システム開発	340	42	256	21
合 計	3,656	1,047	4,160	1,306

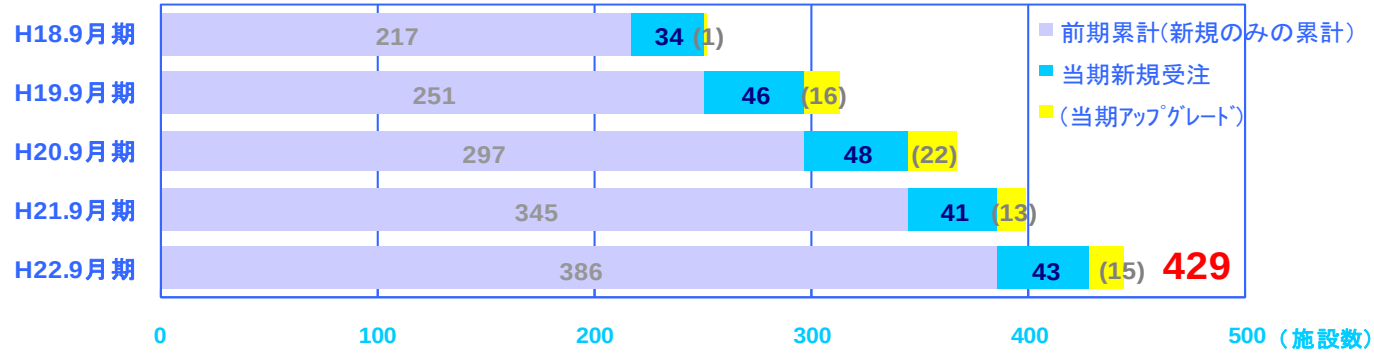
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※当社は当事業年度より連結財務諸表非作成会社であります。

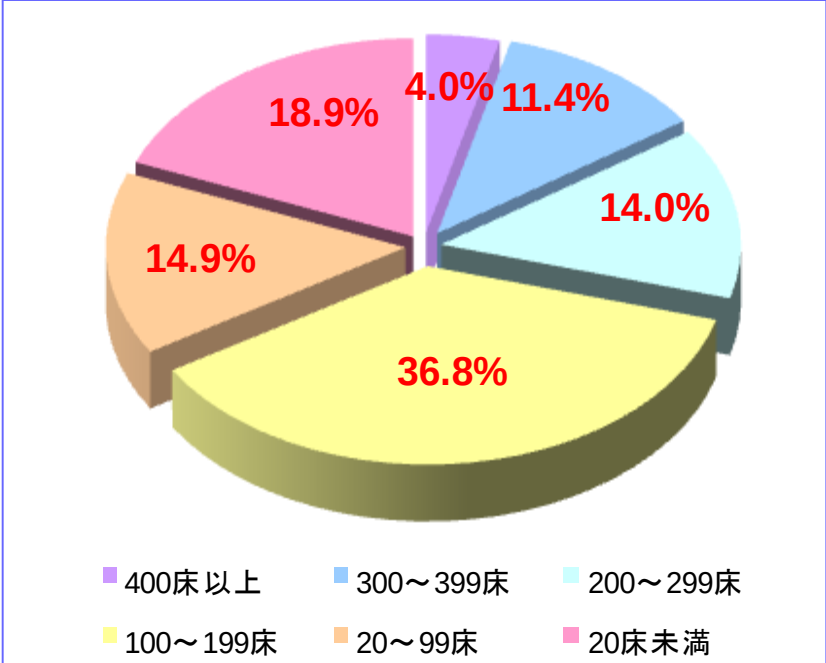
- 電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」を中心とした受注が順調に推移したことにより、受注高・受注残高ともに前年に比べ増加した。

受注の状況(電子カルテシステム開発事業)

MI・RA・Isシリーズ
受注施設数



規 模	施設数	
	H21/9期	H22/9期
400床以上	18	17
399床～300床	45	49
299床～200床	52	60
199床～100床	138	158
99床～20床	50	64
20床未満	83	81
規模別合計	386	429



※MI・RA・Isシリーズ・・・電子カルテシステム
オーダーリングシステム

平成23年9月期 通期見通し

平成23年9月期 通期見通し

単位：百万円

	平成22年9月期 実績	平成23年9月期 計画	前期比	
			増減額	増減率
売上高	3,902	4,148	245	6.3%
営業利益	133	230	96	72.1%
経常利益	127	222	94	74.2%
当期純利益	134	155	20	15.3%
1株当たり配当金	500円	500円	—	—

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 次世代電子カルテシステムを主力とする新「MI・RA・Isシリーズ」を推進力として、医療のトータルソリューションの販売に注力する。
- 平成22年9月期に比べ研究開発費は減少する見込みであるが、より顧客満足度の高い製品を提供するため、製品の機能充実等の開発作業に取り組む。

事業別見通し

単位：百万円

	平成22年9月期 実績	平成23年9月期 計画	前期比	
			増減額	増減率

電子カルテシステム 開発事業	売上高	3,624	3,848	223	6.2%
	売上原価	2,703	2,955	251	9.3%
	売上総利益	921	893	△28	△3.0%
	売上総利益率	25.4%	23.2%	—	—

受託システム 開発事業	売上高	277	300	22	8.2%
	売上原価	232	244	11	5.0%
	売上総利益	44	56	11	24.8%
	売上総利益率	16.2%	18.7%	—	—

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 平成22年9月期は一般管理費（研究開発費）としていた次世代電子カルテシステムの開発費用が、平成23年9月期は売上原価として処理されるため、売上総利益が減少する見込みである。

業界動向と今後の事業方針

	平成21年	平成22年
	10月～12月	1月～3月
世界及び日本の動向	■ドバイ・ショック	■ギリシャ危機表面化
医療関連の動向	■財政のみの医療費抑制、鳩山首相が方針転換 ■緊急経済対策、医療関連に8千億円	■行政刷新会議、医療・介護を重点分野に ■診療録の外部保存で通知を改正
CSIの動向	次世代電子カルテシステム開発継続	
		■精神科単科病院向け電子カルテ「MI・RA・Is/MX」販売開始

ナキールタワー



パームアイランド

	平成22年	
	4月～6月	7月～9月
世界及び日本の動向	■ 鳩山首相辞任、民主党代表選で菅氏選出	■ 参院選民主党大敗
医療関連の動向	■ 診療報酬改定(+0.19%) ■ 新成長戦略閣議決定、医療・介護を成長牽引産業に2020年迄に50兆円規模 ■ IT戦略本部決定、「どこでもMY病院」構想、「シームレスな地域連携医療の実現」、「レセプト情報等の活用による医療の効率化」および「医療情報データベースの活用による医薬品等安全対策の推進」	■ 平成21年度の概算医療費、3.5%増の35.3兆円 ■ 経産省試算、クラウド活用で40兆円市場
CSIの動向	次世代電子カルテシステム開発継続	
	■ 三重安心医療ネットワーク設立 ■ 地域医療連携ソリューション事業でNEC・三洋電機・CSI協業	

新たな情報技術戦略の背景

生活習慣病からの背景

- 日本人の死因の約2/3を占める健康長寿の最大の阻害要因
- 疾病の患者数が多く増加傾向
- 長期間の治療が必要で、多額な治療費
- 病歴管理に加え日々の生活情報等総合的な健康情報管理が重要
- 患者に自身の状況を常に認識させる事が重要
- 治療には専門的な治療の他に日常の運動、食事等総合的な健康管理が重要

■国を挙げての対応

- 治療経過や健康情報の一元管理と常に参照できる仕組み

- 医療機関、検査施設、スポーツクラブ等が健康に関するデータ・情報の共有が必要

■国の重要な施策

- 個人の病歴や健康データを一元管理し活用する仕組み

→「どこでもMY病院」

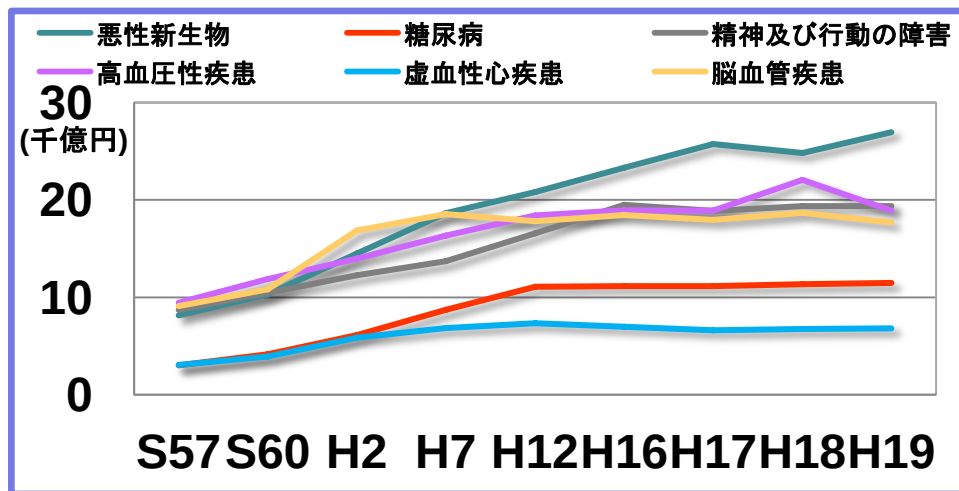
- 医療機関などが個人の情報を共有し連携しながら対応する仕組み

→「シームレスな地域連携医療の実現」

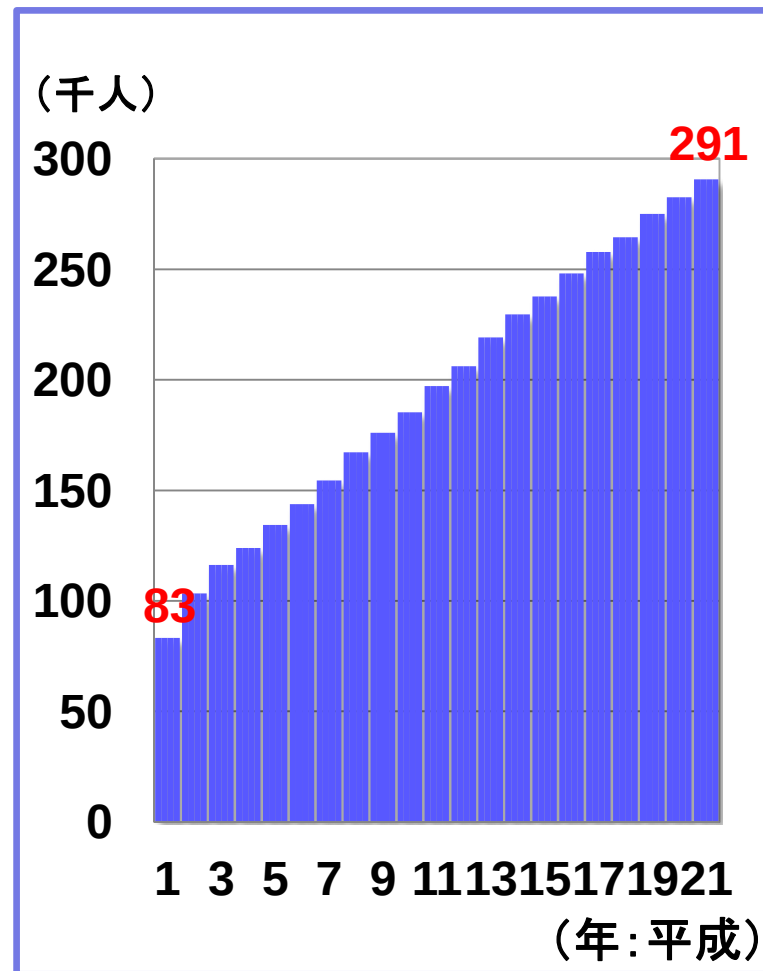
→関連機関のIT化促進

(参考)生活習慣病の実態

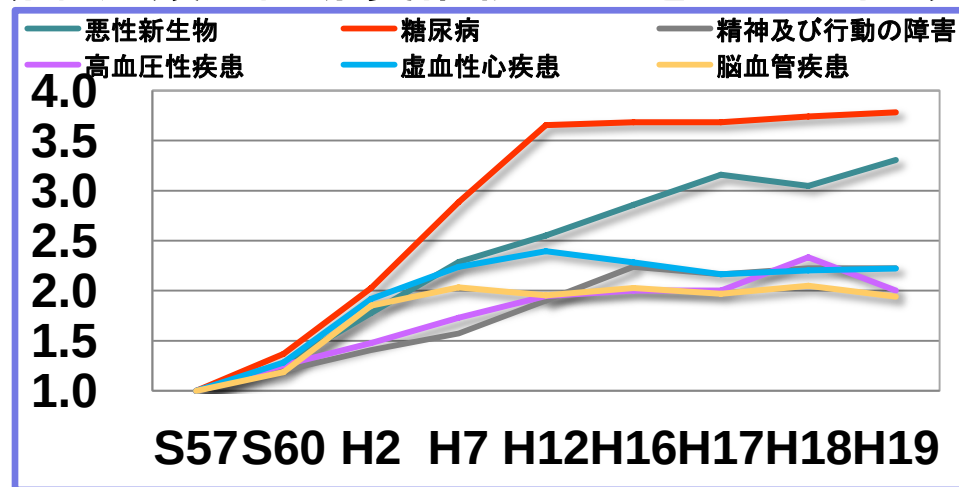
傷病分類別医療費推移



慢性透析患者数の年次推移



傷病分類別医療費推移 (S57を1とした指数)



※厚生労働省「国民医療費」より当社集計

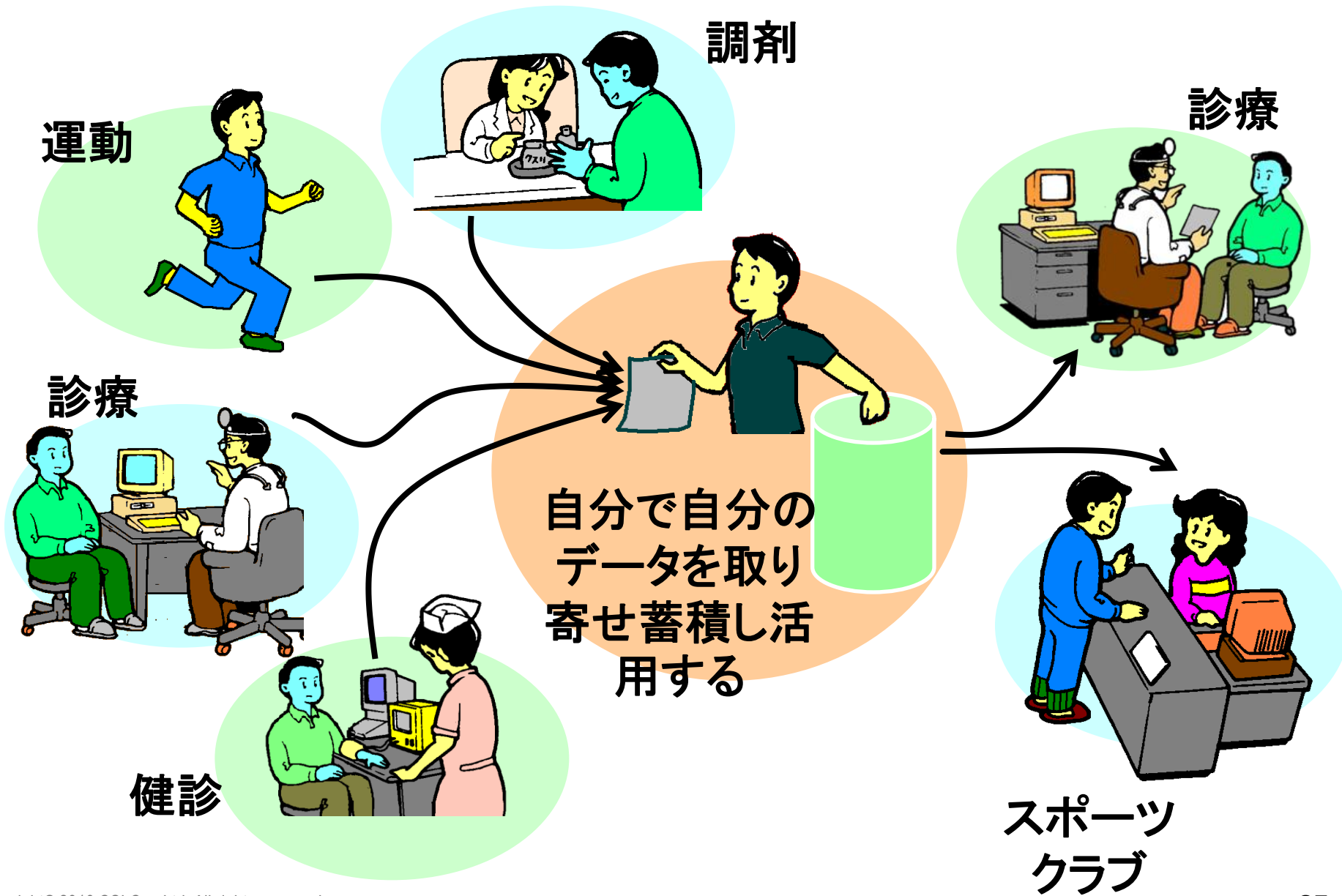
「どこでもMY病院」構想

- 全国どこでも自らの医療・健康情報を電子的に管理活用する事を可能にする「どこでもMY病院」構想を実現することとし、遅くとも2013年までにその一部サービスを実現する。……

「シームレスな地域連携医療の実現」

- 遅くとも2015年までに地域医療支援病院を中心とし、生活習慣病などを対象として、情報通信技術を活用した地域連携クリティカルパスや、医療から介護まで健康に関わる施設間でのシームレスなデータ共用を可能にする体制を各地に構築するため2010年度中に具体的な方針をかためる。……

「どこでもMY病院」構想



「シームレスな地域連携医療の実現」



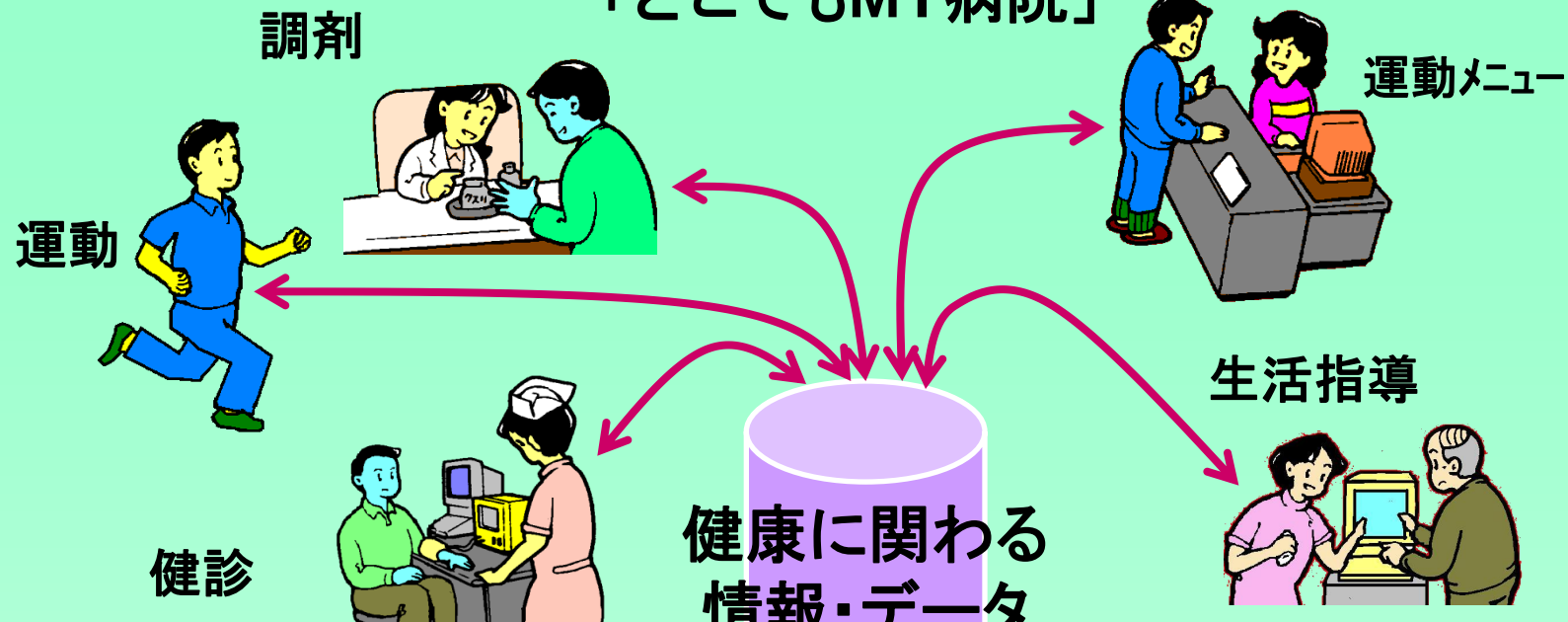


個人の情報を必要な時に蓄積・参照可能とする仕掛けが必要



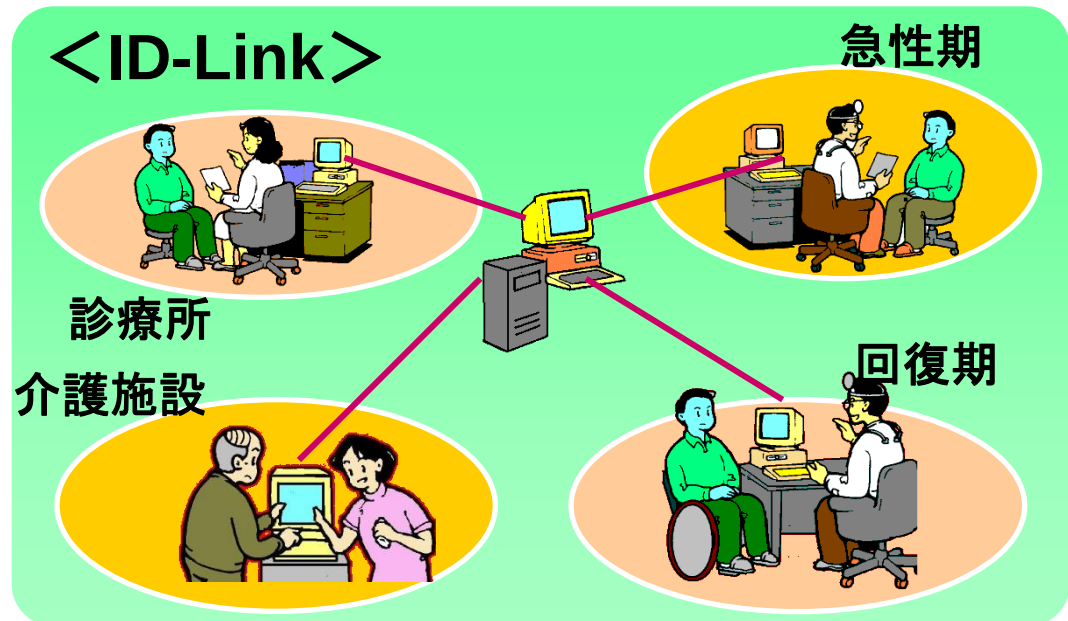
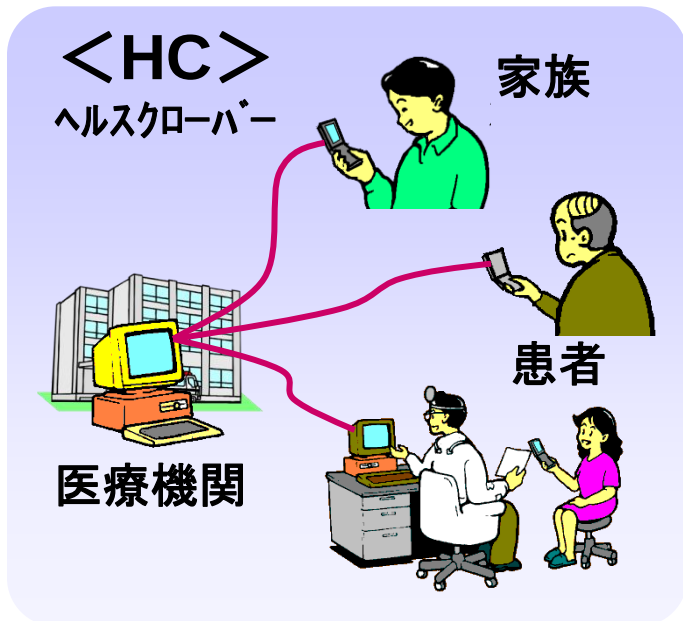
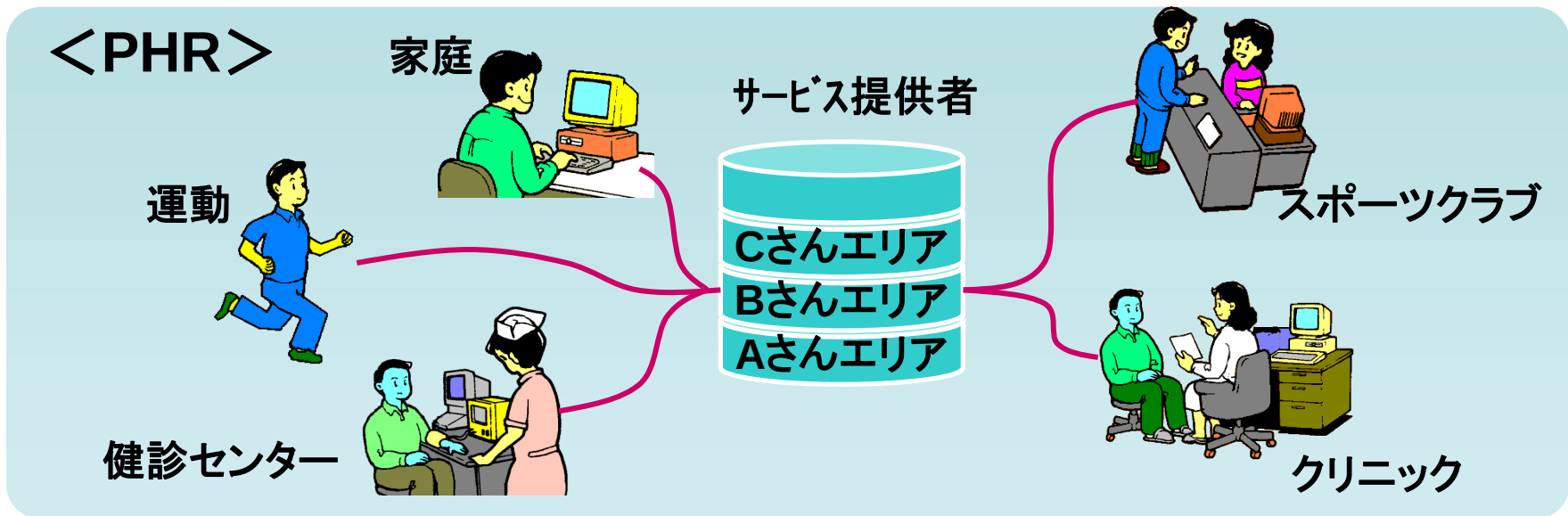
2つの施策の関係(情報)

「どこでもMY病院」

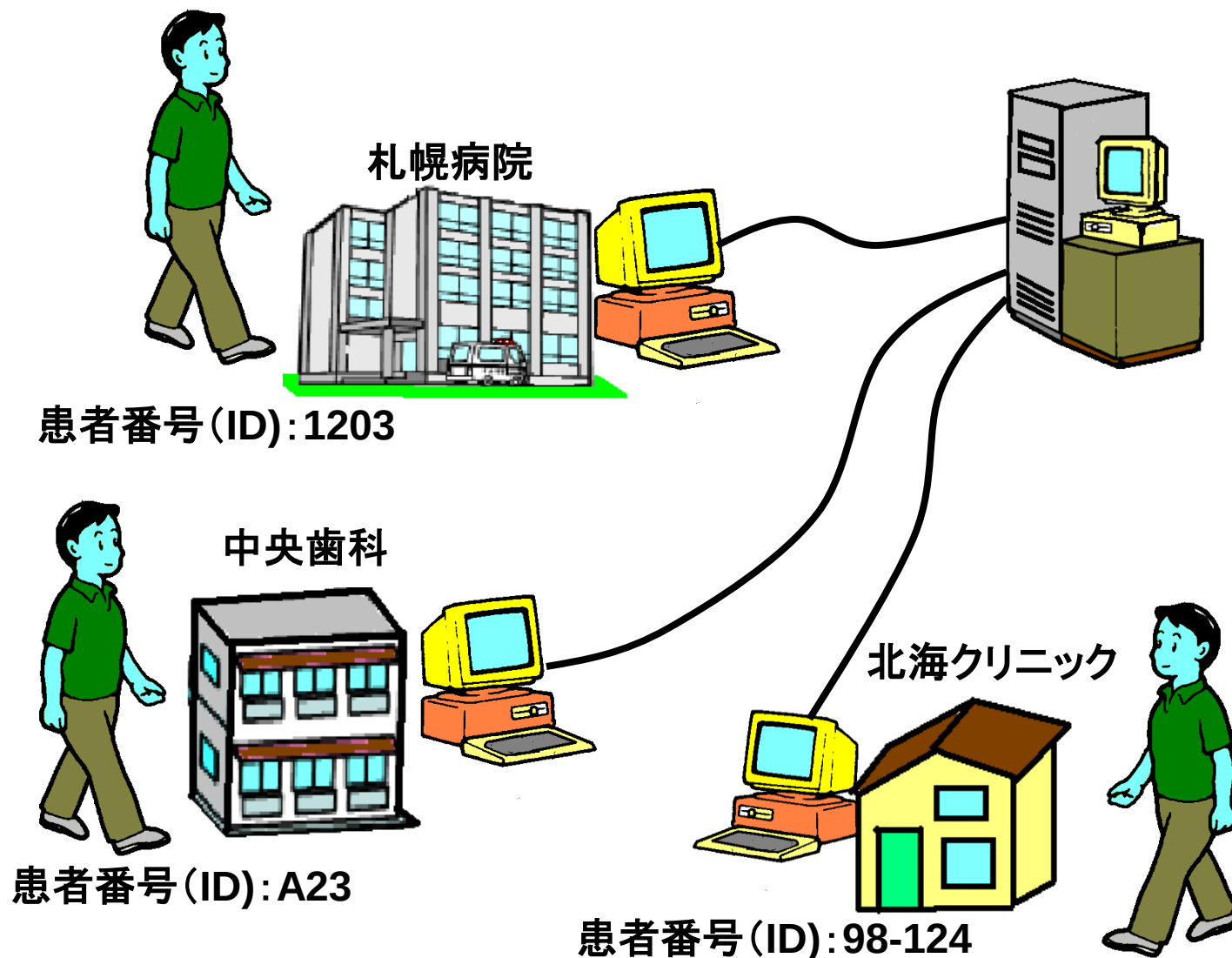


「シームレスな地域連携医療の実現」

具体的な実現形態



ID-Linkとは



医療機関ごとに異なる患者番号を紐付けする。

複数病院に存在する同一人物のカルテを相互参照し、一画面で参照できる仕組み。

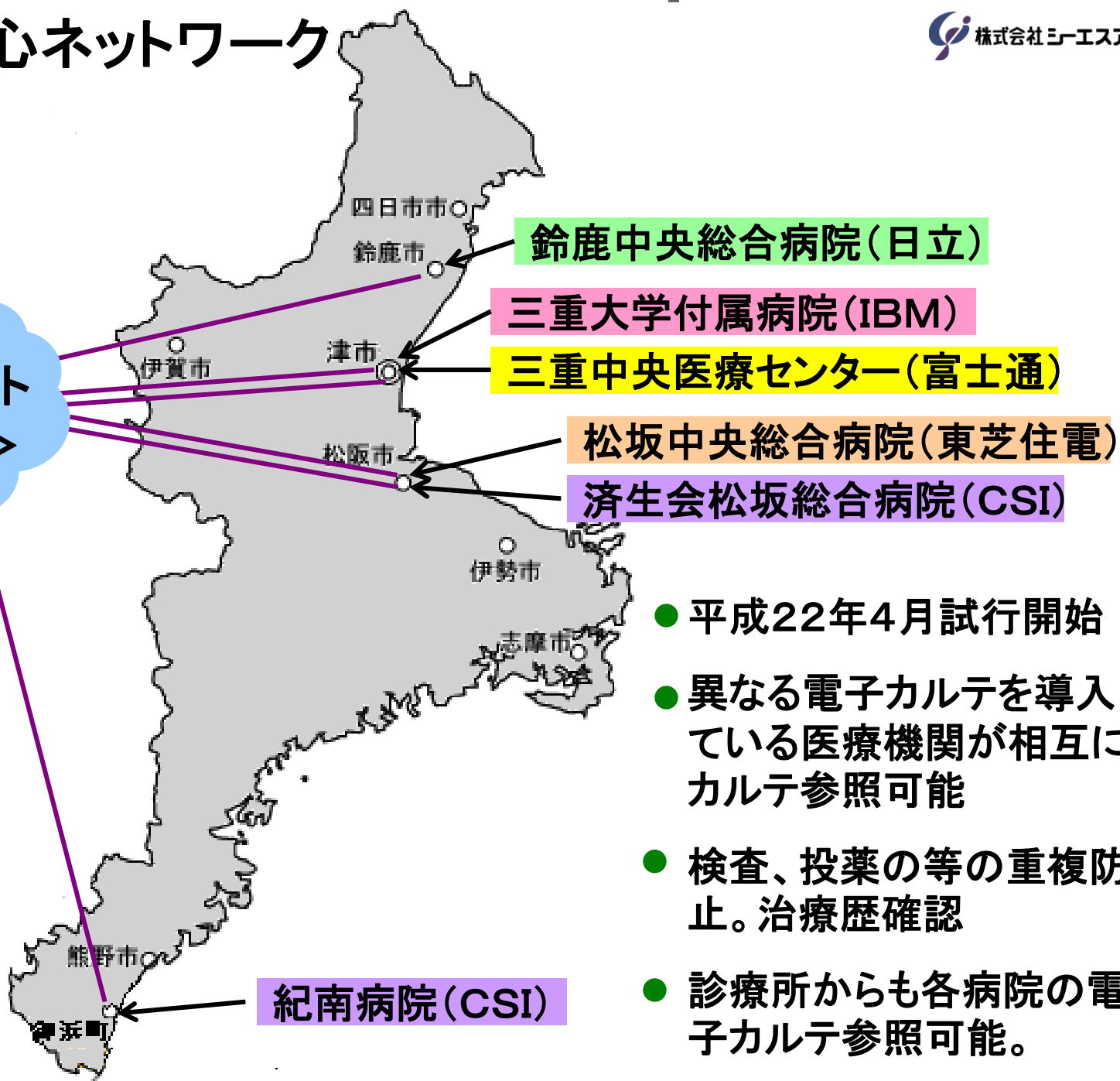
医療機関等で患者情報の共有を実現

9都道府県227施設で利用中
(H22/3末)

※ID-Linkは、株式会社エスイーシーが提供しており、各医療施設内の専用サーバーに格納された診療情報を、同社のサービスセンターを経由して閲覧する仕組みです。

三重医療安心ネットワーク

インターネット
<ID-Link>



- 平成22年4月試行開始
- 異なる電子カルテを導入している医療機関が相互にカルテ参照可能
- 検査、投薬の等の重複防止。治療歴確認
- 診療所からも各病院の電子カルテ参照可能。

データ・情報の電子化フォーマット

医療機関から個人に提供する情報の範囲の明確化

サービスのセキュリティレベル

データ保管・提供サービスを提供する民間業者の要件

：

対象とする疾病（生活習慣病）

在宅医療・介護における情報連携推進のための共有すべき情報

二次医療圏を越える地域連携

：

個人が個人の意思で情報、データを継続的に登録維持するか

組織が、日常業務としてデータ構築を実施する仕組みは普及しやすい

：

■次世代電子カルテシステムと政府施策実現推進

- ・「どこでもMY病院」構想、「シームレスな地域連携医療の実現」等政府政策を見据えた事業展開
- ・「ヘルスクローバー」、「ID-Link」の拡販とその基礎となる次世代電子カルテシステムを主力とした事業展開
- ・上記施策により医療の課題解決にも貢献する

「どこでもMY病院」構想

- ・医療情報・健診情報・健康情報を患者・利用者が一元管理・活用

「シームレスな地域連携医療の実現」

- ・地域連携ネットワークの構築

上記施策の実現には、
関係機関個々のIT化が必須

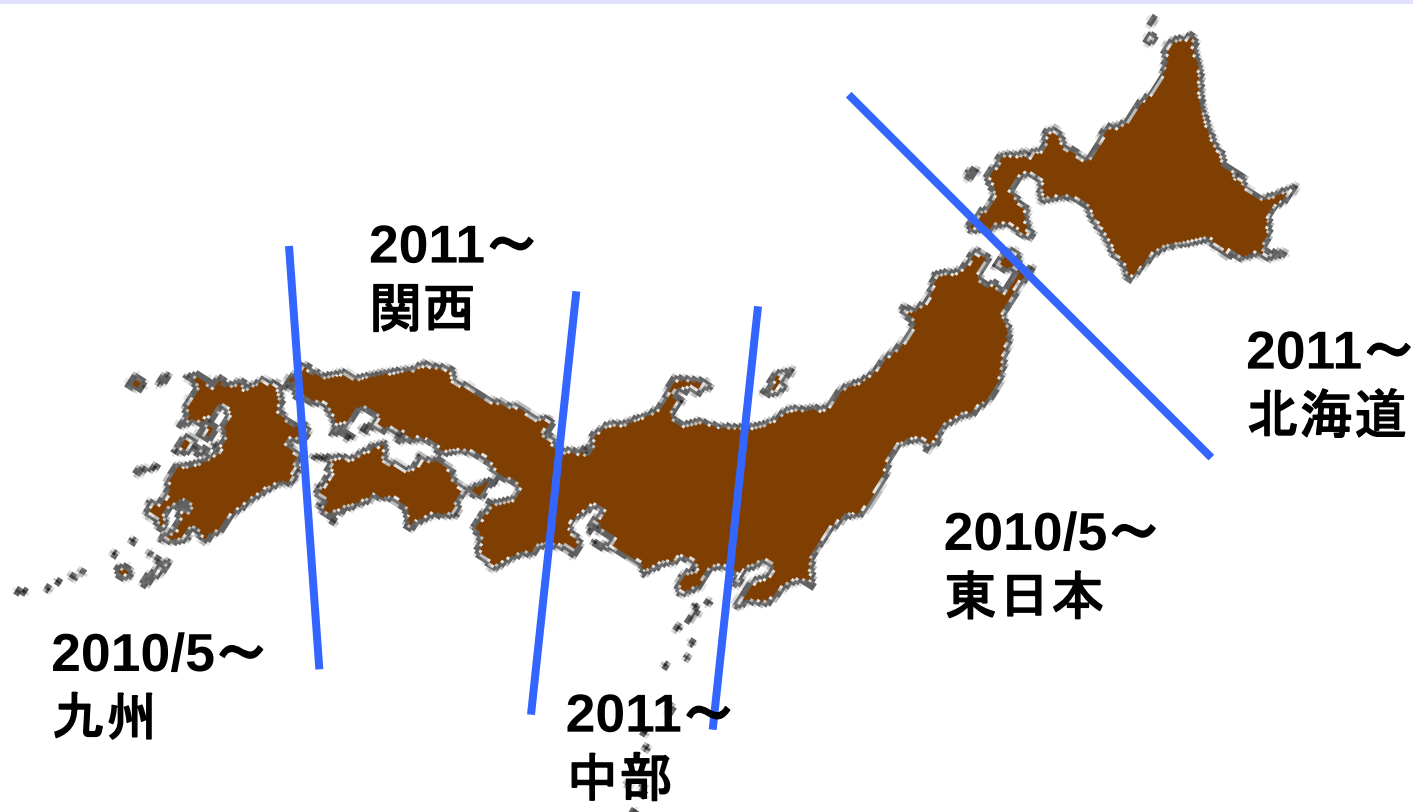
健康・医療ソリューション
Health Clover

地域医療連携システム
ID-Link

電子カルテシステム
MI・RA・Isシリーズ

■顧客満足度向上

- ・「MI・RA・Isユーザーフォーラム」の活動充実等により、ユーザーニーズを的確に把握し、製品の機能充実等の開発作業に取り組み、より顧客満足度の高いシステムの提供を目指す。
- ・前年度から地域会を開催し、より参加しやすい形態も追加。



平成22年12月17日開催第15回定時株主総会にてご承認を頂いた場合

代表取締役2人体制

- ・次世代電子カルテ展開、受託事業の体制強化等により積極的な事業展開を図る
- ・業務・資本提携等、事業拡大の機会を模索する

取締役増員

- ・積極的な事業展開に伴う経営体制の強化
- ・営業系、システム系、管理系と分野別体制による緻密な経営

平成22年9月期 決算説明会

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)

株式会社シーエスアイ 経営企画部

TEL.011-271-4371